

ICT学習よこはまスタンダード改訂委員会 指導案

横浜市立左近山中学校

教諭 中村一弥

1. 日 時 平成22年 1月19日(火)5校時 13:55～14:45
2. 場 所 コンピューター室(南棟4階)
3. 対 象 生徒 1年2組 (全26名)
4. 題材名 技術・家庭科「情報モラルの必要性和マナー」
情報社会の光と影について調べ、発表しよう。
(D1ーイウ D2ーイ)

5. 題材設定の理由

近年、インターネットやケータイが子どもたちの間にも急速に普及し、資料を収集するのにもインターネットで簡単に集めることができ、授業でも多く活用するようになり日常生活を大きく変容させてきました。しかし、その反面、これまでにない社会問題を起こす現象もおきてきました。その中で情報社会での正しい知識や使い方を学び、情報モラル・マナーを身につけていくことが重要になっています。

6. 指導計画(8時間扱い)

- ① 情報モラルについて考える。 (1時間)
自分の考えを「情報モラル・マナーについて」のプリントに書く。
Y・YNET の『情報モラル・マナー』を使ってインターネットで調べてみる。
- ② 情報モラルの中で何について調べるのか決め、グループを作り、自分が何を調べるのかを決める。 (2時間)

1. インターネットのルールとマナー	コンピュータウィルス・メール
2. 携帯電話・インターネットの危険性	掲示板・有害情報
3. ネットの歩き方	個人情報
4. 著作権、情報モラルQ & A	著作権事件
5. 楽しく学ぼう著作権	著作権(デジタル万引き)

などの5種類位に分けるられるように導く。(最大8人)
毎回、授業で調べたことをプリントに記入し、提出する。
- ③ 自分で調べたことをグループで話し合い、パワーポイントで発表できるように作っていく。できあがった班は印刷をして発表の練習をする。 (4時間)
各班に1つずつUSBを渡し、代表者が管理する。忘れるといけないので、授業の最後に作った内容を始めから決められたコンピュータに保存する。

- ④ グループごとに発表し、発表した内容を評価する。（本時）
 一人最低1ページ以上書き、最後に自分たちの考えを必ず入れる。
 （1時間）

7. ICT学習よこはまスタンダードに関連する内容

情報活用の実践力 調べる判断する 情報収集・判断
 表現する発信する プレゼンテーションの活用(中)
 目的に応じたいろいろなメディアの選択
 と活用
 情報社会に参画する態度 参画する態度の創造 インターネット利用のルール
 情報モラルの必要性と責任 発信する情報への責任 著作権
 の理解(中) 個人情報の保護 などを学習する。

8. 題材の目標

インターネットやケータイについて、生徒達の日常生活を大きく変容させ、生活を豊かにしてきた反面、これまでにない社会問題を起こすようになってきました。その中で正しい情報社会でのモラルマナーを考えていく。

関心意欲・態度

- ・情報モラル・マナーのことについて興味・関心を持ち意欲的に活動ができる。

創意・工夫

- ・発表をするときに必要となる情報ツールを収集、管理などをできる。

技能

- ・自分のプレゼンテーション作品で、情報モラル・マナーのもとで保護することができる。

知識理解

- ・今回の授業を通して情報モラル・マナーについて考え、理解することができる。

9. 本時展開(8／8時)

学 習 活 動 と 内 容	支援と評価
1. 本時の課題の確認をする。 5分 発表する内容をしっかりみんなに伝達できるよう整理をしておく。 発表記録カードを自分のコンピュータ	・USBを渡しパワーポイントで発表できるように準備をする。 ・サーバーに発表記録カード(エクセルデー

に出す。必要データは入れさせる。 (記入については、まず印刷されている物に記入をしていく。)	タ)を記録しておき、各コンピュータから呼び出して発表をした後すぐに評価できるように準備しておく。 ・ホワイトボードに発表記録カードのポイントを書いておく。
2. 発表する順番通りに発表をする。 30分 グループごとにパワーポイントで情報モラルの発表を行う。 一人ずつ事柄や自分の考えを入れ発表する。 ・発表の内容はよく理解できましたか。 ・発表の声はよく聞こえましたか。 ・発表態度は良かったですか。 ・注意しなくてはいけないところはわかりましたか。 ・対処方法はわかりましたか。 ・発表者の考えが理解できましたか。 ・光と影がわかりましたか。 ・班の発表は理解できましたか。 などをA～Dの4段階で評価する。	・プロジェクターで映しながら説明をさせる。 ・一班5分程度で発表をさせる。 発表をする際、全員が発表に携わる。 書いてある文章を読むだけではなく、説明もしていく。 発表を聴きながらポイントとなるものを記入させる。 ・聴きながら班の採点をしていく。 持っている記録カードに簡単なメモとして班の発表のことについて記入をさせる。
3. 発表記録カードをコンピュータに保存する。レーザープリンターで印刷をする。 3分	・時間内にできている部分だけ保存させる。印刷をさせ、記入したカードは班長が集める。
4. 発表に関してまとめ・注意点 他班などの感想をいわせる。 7分	・先生からの講評をする。 余った時間で良かったところを評価してあげる。 ・つくったものを印刷し、後で配布する。
5. 次週の確認をする。 5分	

10. 評価

関心意欲・態度

- ・情報モラル・マナーのことについて興味・関心を持ち意欲的に活動ができたか。

創意・工夫

- ・プレゼンテーションの発表において、工夫をし発表することができたか。

技能

- ・プレゼンテーションで、情報モラル・マナーを正しく理解し、個人情報や著作権を保護することができたか。

知識理解

- ・今回の授業を通して情報モラル・マナーについて考え、理解することができたか。